

和光市政を耕す ^{たがや} 市政に新たな種をまき、 芽を育てよりよい街にしよう! VOL. 14

たけちゃん通信



昨年の世相を表す漢字は「輪」でした。昨年は2020年の東京五輪開催決定や自然災害における支援の拡大などが反映し応募総数は17万290票で「輪」が最多の9518票。五輪決定や富士山の世界文化遺産登録で「日本中が輪になって欢喜に沸いた」、台風や集中豪雨の被災地への支援で「つながりの輪を感じた」などが理由として挙げられたようです。また、東日本大震災の被災地復興のため支援の「輪」がさらに必要との声もあったようです。

東日本大震災から早くも三年が経とうとしています。被災された皆様ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興・復旧を心よりお祈り申し上げます。また、東日本大震災は減災そして「絆」を再確認するきっかけになりました。3.11の教訓により、災害時における自助・共助はもちろんのことですが、防災となり組・安否確認が大切で、特に近助の精神が大切だと言われています。近助の精神とは隣近所が助け合う心で、災害時の初期の段階で重要だと言われています。かなりの確率で発生すると言われている大地震に備えて、地域の「輪」を大切にしましょう。



平成25年度 12月定例会 議会報告

平成25年和光市議会12月定例会（議会）が、11月28日（木）より会期19日間の日程で開会し12月16日（月）に閉会致しました。請願1件、陳情4件、議案68号から議案80号までの13議案が上程されました。審議内容及び審議結果については、和光市議会ホームページにてご確認ください。私は今回全ての議案に対して賛成致しました。尚、和光市議会を広く市民の方々に公開し、より開かれた議事を推進するために、開催中の市議会の音声及び画像を記録し、インターネット上で公開することになりました。録画中継は、原則として本会議の翌日から起算して5日（土日を除き）以降に配信することになっています。

クリック ◀ パソコンの「検索」機能を使うと便利です。 パソコンです。



ここをクリック



ここをクリック



平成25年度
12月定例会
議会報告

吉田たけしが市政に対する一般質問をした内容(抜粋)



駅北口土地区画整理事業について

今現在の進捗状況について質問致しました。

【質問】 駅北口土地区画整理事業は、平成34年度に完成する予定になっていますが、**東京オリンピック2020年開催決定に伴い、駅前広場だけでも7年後の完成を目指して**行うような考えがあると聞きました。陸上自衛隊朝霞駐屯地では、ライフルの射撃会場となり、和光市駅を利用し、電車の乗り換えや、成田空港・羽田空港に行く空港バスも発着していることから和光市駅の利用も増えるのではと思います。東京オリンピックまでには、駅前広場が完成出来るか?を質問致しました。

【答弁】 駅前広場の整備については、平成30年度完成を目途に整備を進めていく計画です。

地権者との合意について質問致しました。

【質問】 駅北口土地区画整理事業に対する合意形成率は78.8%で、8月27日付けで仮換地指定通知を郵送したと聞いております。その後仮換地指定通知書を受け取った地権者から、行政不服審査法により36名の地権者より審査請求が提出されたと聞いております。審査庁(埼玉県)は処分庁(和光市)と審査請求人(地権者)の双方の主張が尽くされた後に裁決が行われるようですが、行政不服審査請求者への対応について質問致しました。

【答弁】 仮換地指定処分に対する審査請求の審理については、行政不服審査法の規定に基づき進められますので、審査請求人に対して、処分庁である和光市は、不服事由に対しての理由や正当性を説明していく弁明をおこなってまいります。

【コメント】 駅北口土地区画整理事業の本来の計画は、40.5ヘクタールで、今回着工する優先施行区域以外の方々も、早く道路整備や公園整備を望んでいる方が大勢おります。駅北口土地区画整理事業は、和光市の重要施策であり、今後の北口の発展のためには、早い完成が望まれています。北側の玄関口としての駅前広場の整備、道路や歩行者専用道路の整備など、北口の活力ある社会と地域の形成と安心で豊かな生活を可能とする街づくりをすすめるために期待されている事業です。ご協力を頂く地権者の方々に仮換地合意に向けて丁寧な説明をして頂き、事業を計画通りに進めて頂きますようお願い致しました。また、着工に向けての**起工式が昨年12月17日に開催されました。**



子育て支援、待機児童解消対策について

子ども・子育て支援会議の進捗状況について質問致しました。

【質問】 平成27年4月より実施される子ども・子育て新制度に向けて、第1回子ども・子育て支援会議が8月27日に行われ、第2回支援会議が10月23日に行われました。子ども・子育て支援会議の進捗状況についてと、子ども・子育て新制度における施策を円滑に実施するため、庁内調整会議を設置しましたが、各ワーキングチームは円滑に進んでいるのかワーキングチームの進捗状況について質問致しました。

【答弁】 子ども・子育て支援会議の進捗状況につきましては、第1回会議を8月、第2回会議を10月に開催するとともに、和光市子ども・子育て支援新制度庁内調整会議及びワーキングチームを設置し、子ども・子育て支援会議に諮る内容について、事前に調査検討を行っております。ワーキングチームについては、法務、財政、IT、計画の4チームに分かれておりますが、現在は計画チームを中心に調査検討を行っております。なお、今後につきましては、審議状況により、法務、財政、ITチームについても随時開催していく予定です。

平成27年4月に向けての準備状況について質問致しました。

【質問】 平成27年4月から新制度が始まりますが、新制度移行に向けて、保育の必要性の認定や学童保育の基準などの条例の検討。その他必要な準備があると思いますが、準備状況について質問致しました。

【答弁】 平成27年4月に向けての準備状況につきましては、今年度中に国から基準が示される予定となっておりますので、6月議会での条例制定に向けて取り組んでまいります。また、今回の補正予算にて、新制度に対応する電算システムの構築業務委託料を計上いたしました。なお、平成27年度の新制度施行を前に、平成26年4月から、教育委員会が所管している学童保育等の事務を保健福祉部に移管する予定であることから、事務に滞りのないよう、新制度移行に向けて準備を整えてまいります。

【質問】 アンケート調査の中で和光市独自のアンケート項目を入れたと思いますが、どのような観点から行ったのか、また、

ニーズ調査やアンケート結果から出た和光市の傾向について質問致しました。

【答弁】 調査項目は国から示された調査票を参考にしながら、調査項目の整理を行うとともにニーズが的確に把握できるよう、市独自の項目を設定しました。特に、子ども・子育て支援事業のグランドデザインを構築するため、北・中央・南エリア別の日常生活圏域における居住区域を記載した他、利用している教育・保育事業の種類、子育て支援拠点の場所は希望通りか、子育て支援拠点までの交通手段・所要時間等を追加しました。その結果、子育て支援拠点事業の利用場所が希望通りかとの質問に対し、南エリアと北エリアの7割以上が希望通りと答えているのに対し、中央エリアでは希望どおりではないとこたえている人が36%にのぼっています。また、計画全体の評価指標として、次世代育成支援対策後期行動計画の評価指標から引き続き「和光市は子育てしやすいか」との質問を設けました。その結果、0～5歳児の保護者への調査で、「子育てしやすい」が33.9%であり、平成21年度の調査における31.5%に比べ、評価は高くなっています。

【質問】 幼稚園の活用については、今後の国の審議の状況を見ながら、情報共有を図りニーズ調査の結果を踏まえ、量の把握と確保の方策について、意見交換をして行くとのことでした。私もホームページでニーズ調査の中間報告を見ましたが、幼稚園を利用している方が多く、幼稚園の質の高い教育が望まれているのではと思いました。和光市も、財政困難の中、保育所が足りないからといって、保育所をつくるのではなく、今の幼稚園の施設を活用できるかを考えて、学童保育や保育園と同様の機能を持つ幼稚園を整備することで、保育園待機児童解消や学童保育を6年生まで行うことに活用できると考えますが、幼稚園の活用と連携について質問致しました。

【答弁】 幼稚園の活用と連携につきましては、幼稚園に空き教室がないことや、新制度の給付費等が決定しないと、施設を活用して事業を行った場合の経営試算ができない状況であるため、現状での判断は難しいとの意見を各園からいただいております。今後の国の審議の状況を見ながら、情報共有を図るとともに、幼稚園の活用と連携について検討してまいります。

【コメント】 新制度では、市が実施主体となり、子どもの健やかな成長のために適切な環境が確保され、子ども・子育て支援を総合的かつ計画的に行うこととされています。ニーズ調査、アンケートなどの結果をもとに地域のニーズに応じた多様な子育て支援が行えるように、調査結果を活かした、子ども・子育て支援新制度にして頂きますようお願い致します。また、平成27年4月から始まる新制度への円滑な移行も行えるように、必要な準備を進めて頂きますようお願い致します。



下新倉児童センターについて

下新倉児童センターの役割について質問致しました。

【質問】 下新倉児童センターは、(仮称)和光市立下新倉小学校建設のため、また、老朽化に伴い修繕が必要とされていることから、新設校と併設で、建替えを計画されています。今現在下新倉児童センターでは、幼児対象事業・地域交流事業・中高生事業など幼児から高齢者までいろいろな行事がたくさん行われています。新設校に併設されることで、今現在行われている事業・活動は、行いうのが難しくなるのではと思いますが、いかがでしょうか？

【答弁】 下新倉児童センターにつきましては、児童福祉法第40条に規定する児童厚生施設の1つで、地域において児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操をゆたかにすることを目的とする児童施設です。そのため、下新倉児童センターが(仮称)和光市立下新倉小学校に併設した場合の事業につきましては、児童センターとしての役割・機能を検証し、今後策定される子ども・子育て支援計画の地域子ども・子育て支援事業に位置づけてまいります。

【質問】 子育て支援計画の地域子ども・子育て支援事業に位置づけとの答弁がありましたが、どのように位置づけるのか？今と変わらない活動が担保されるのか？質問致しました。

【答弁】 児童センターの役割・機能については、子どもの育ちを支える場であり、子どもの成長に応じて「遊び」を通じた健全育成のための事業を展開し、また、子どもと保護者が地域で安心して暮らせるように、親子の交流拠点や居場所として機能するとともに、不安や生活上の困難などに対応して必要な援助に結びつける福祉的な援助機能も重要であると考えております。

【コメント】 下新倉児童センターは、幼児から高齢者を対象にたくさんの事業を行っています。幼児から高齢者の方々は、健康増進など楽しく交流事業に参加しています。また、下新倉児童センターを新設校に併設しないで、単独の施設にして頂きたいとの、要望もたくさん出されているようですので、計画を進めるに当たって丁寧な説明をしていただくよう要望致しました。



小学校建設について

(仮称)和光市立下新倉小学校建設設計業務委託について質問致しました。

【質問】 小学校建設もようやく用地確保も出来、小学校建設準備委員会も6回行われ、準備委員会に於いて小学校建設報告書がまとめられ、市長に提出されました。また、新設小学校建設設計業務委託の実施に向けて、プロポーザルを実施している段階まで進んで来ました。プロポーザル方式は、コンペ方式と違い具体的な課題を提示して、課題に対する提案を評価し、設計者を選定します。具体的な課題とは、小学校建設報告書に沿った提案だと思えます。小学校建設は和光市の最後の大きな事業だと思えます。実際

設計者が確定してから学校関係者や地域などの意見を取り入れて設計していくと思いますが、問題点は山積みになっていて、選定する側、選定員に地域特性や地域ニーズなどの説明をし、ある程度の選定基準も必要ではと思います。その点についての考えについて質問致しました。

【答弁】 省略

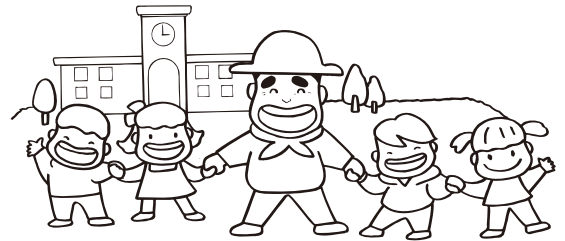
【コメント】 昨年12月13日に新設小学校建設設計業務委託プロポーザル実施について、プレゼンが開催され、設計業者が決定され、12月下旬に契約締結がされました。

(仮称)和光市立下新倉小学校建設周知広報について質問致しました。

【質問】 小学校建設は、市の最優先、最重要課題の一つとして、平成28年度4月開校に向けて行われています。私も学校建設に携わった者として、当初の計画より1年遅れましたが、大変うれしく思っています。私も今までいろいろな所で、学校建設について話して来ましたが、今回改めて感じた事があります。それは、実際には、要望をしてから5年以上が経っており、小学校建設に関心があった方々の、お子さんが上級して、小学校に関心がなく、中学校はいつ出来るのと、関心が移っていることです。新倉小学校、坂下公民館で行われた意見交換会について、低学年の保護者の方と話しましたが、小学校でプリントがあったようだと、あまり関心がないようでした。市の最優先、最重要課題の一つの事業ですので、市内全域に強く広報した方が良かったと思います。今後広報にてイメージレイアウトなど広報で周知出来たらと思いますが、今後の広報・周知についての考えを質問致しました。

【答弁】 広報については、来月の1号におきまして、小学校建設計画を周知し、これから学校建設に当たっての設計が始まることから、適切な段階で、イメージなども利用したわかりやすい広報が図れるように努めてまいります。

【コメント】 小学校建設は、市の最優先、最重要課題の一つの事業で、北側発展の象徴となる公共施設、楽しさ・夢のある学校・安心・安全・優しく快適な学校、地域の生涯学習やまちづくりの拠点にもなる学校を目指して、設計・建設がされます。工事期間は、15ヶ月間で、とてもスケジュールがタイトで厳しいと思います。平成28年4月開校に向けて、建設がスケジュール通りに推進していくことを願っています。



昨年の新語・流行語大賞は、「今でしょ!」、「じぇじぇじぇ」、「倍返し」、「お・も・て・な・し」の四つが年間大賞を受賞しました。私は、「じぇじぇじぇ」、「お・も・て・な・し」が好きな言葉です。昨年の私は「じぇじぇじぇ」な一年でした。

質問内容等は、和光市議会ホームページ議会会議録検索システムを利用しご確認ください。

c o m m u n i t y i n f o r m a t i o n



和光市議会議員 吉田たけし

< 4 つ の 柱 >

1. 新倉・下新倉地域へ小・中学校の早期建設を推進します。
2. 保育園の新設や病児保育、延長・夜間保育を推進し、保護者の就労を支援します。
3. 農業・農作物のブランド化を図り、地域の活性化を図ります。
4. 北側発展のため、都市計画道路、区画整理事業の早期完成を目指します。

市政に対するご意見・ご要望、またなにかの時には、なんでもご遠慮なくご相談下さい。皆さんと一緒に考えて行きます。

この会は、吉田たけしさんを中心に明るく、楽しく元気なまちづくりを目的に、会員相互の研修と親睦を行なっています。入会無料です。入会いただける方は右記にご記入の上、この面をFAXでお送りください。どうぞお気軽にご加入ください。



吉田たけし後援会

会長 柳下 茂

〒351-0111 埼玉県和光市下新倉4-15-1

TEL.048-424-3517 FAX.048-462-9369
<http://www.takechan-yoshida.jp>

お名前

ご住所

ご連絡先電話番号

携帯

メールアドレス